

この問題集は、全三冊で構成される「入試現代文へのアクセス」シリーズの第二冊目「**発展編**」である。入試現代文の基本問題集の決定版として評価されてきた「**基本編**」に続き、より高度な入試問題に対応する力を養うことを目的として編まれたものである。という「難しいのではないか」と思われがちだが、「わかりやすさ」と「使いやすさ」という「基本編」の特徴を最大限に生かし、無理なく現代文の高度な力を養えるように、綿密な検討を経て作られたものなので、安心して取り組んでもらいたい。

なお「入試現代文へのアクセス」という、シリーズの表題は

きちんと筋道を通して、入試現代文の正解に迫るIIアクセスすること

を意味する。

この問題集は、**ステップ1**と**ステップ2**各八題ずつ、合計十六の問題で構成されている。ステップ1で典型的な問題八題に取り組み、基本的な事項をおさらいする。「**基本編**」をやったなかった諸君も入試問題の基本に充分なじむことができるように配慮してある。ただし、もしステップ1で苦しむようなら、ぜひ一度「**基本編**」に取り組むことをおすすめする。ステップ2の八題はかなり難しくなるが、これを乗り切った**晩**には、難関大学の入試問題に取り組むこともできるようになるはずだ。

本書は特に次のような諸君に最適である。

- I 「入試現代文へのアクセス 基本編」を終えて、継続して現代文の力を向上させたい。
- II 現代文の成績は悪くないが、難関大学の入試に向けて、より高度な力を身につけたい。
- III 他の参考書や問題集にいろいろ取り組んだが、現代文の問題を解く方針がかえって混乱している。

▽▽▽ 本書の5つの特徴

① **本文と設問のわかりやすい解説。** 文章を読む力を養うための「本文の解説」と、それに即した解答の仕方（設問の解説）でわかりやすく示すことに全力をつくした。

② **きめ細かな語句解説。** 現代文特有の用語の意味がわからずに苦しんでいる諸君のために、本文に出てくる重要語について、各本文の後に「語句の意味」を示し、最重要語は「現代文のキーワード」として掲げ、詳しく解説した。

③ **基本的な読解のポイントⅡ〈読解へのアクセス〉。** 文章をどう読めばいいのか悩んでいる諸君のために、文章を読む際の具体的指針を「読解へのアクセス」という形で示した。

④ **解法のポイントⅡ〈正解へのアクセス〉。** 設問への取り組みに苦労している諸君のために、別冊子の「設問の解説」の中でも、基本的な解法のポイントを「正解へのアクセス」という形で示し、ていねいに解説した。

⑤ **幅広く高度な読解力に結びつく文章選択。** 文豪から現代の著者まで多様な分野の文章、しかも面白いものを載せることをこころがけ、高度な読解力が総合的に養成されるように設問を練り上げた。

## ▽▽▽ 本書の構成

◆ それぞれの問題は、まず本文と設問があり、次に**〔語句の意味〕**と**〔本文の解説〕**が続いている。(本文+語句の意味+本文の解説)を結びつけて学習することで、真の読解力が養われるはずだ。

◆ それぞれの設問の解答と解説は、別冊子にしてある。問題を解くときや、本文と**〔本文の解説〕**を検討しているときに設問に関わる内容が目に入らない方が、落ち着いて取り組めるからである。

◆ **〔語句の意味〕**は、本文での意味を重視して、簡潔な解説をこころがけた。また特に現代文読解のうえで重要な類出語句は、**〔現代文のキーワード〕**として掲げ、ていねいに解説している。さらに、解説された語句すべてについて、単語集のような使い方もできるように、巻末に**索引**をつけてある。

◆ **〔読解へのアクセス〕**・**〔正解へのアクセス〕**は、あとからフィードバックして確認しやすいよう、基

本編から一貫した通し番号をつけている。

◆ **〔読解へのアクセス〕**・**〔正解へのアクセス〕**は、チェックしやすいように、本冊子p10に**〔基本編〕**の**読解へのアクセス一覧表**、本冊子巻末のp166と167には**〔基本編〕**と本書に出てきた**読解へのアクセス**すべての**一覧表**を掲げてある。同様の形で、解答・解説冊子のp2とp64に**正解へのアクセス一覧表**を掲げてある。

◆ 本冊子の巻末に、小説を除く十四題の文章の**本文要約**(一五〇字)を掲載した。要約のポイントも付いているので、復習時に活用してもらいたい。

◆ 参考までに、各問題とも、本文の下に同じ筆者の文章の入試出題歴を簡単に示してある。

◆ また、**〔解答〕**には各問50点で配点をつけてあるので、参考してもらいたい。

## ステップ1

- 第一問 「モードが違う」 佐藤雅彦……………12
- 第二問 「里の在処」 内山 節……………20
- 第三問 「匂いのユートピア」 巖谷國士……………30
- 第四問 「工場見学」 小川洋子……………38
- 第五問 「口頭伝承論」 川田順造……………46
- 第六問 「家族の夢」 小林恭二……………56
- 第七問 「老いの空白」 鷺田清一……………64
- 第八問 「鋼索電車」 村田喜代子……………74

★確認しよう……………29・45・83

## ステップ2

- 第九問 「境界線の政治学」 杉田 敦……………86
- 第十問 「父の鷗外」 須賀敦子……………96
- 第十一問 「日本文化 モダン・ラプソディ」 渡辺 裕……………106
- 第十二問 「レヴィナス入門」 熊野純彦……………114
- 第十三問 「断つこと、放つこと」 松浦寿輝……………124
- 第十四問 「物理学と神」 池内 了……………134
- 第十五問 「悲劇の解読」 吉本隆明……………144
- 第十六問 「三四郎」 夏目漱石……………154
- ★ 読解へのアクセス一覧……………166
- ★ 要約してみよう……………168
- ★ 語句索引……………173